

# 大湾区情報 No. 71

グレーターベイエリア情報 発行：2023年11月21日



## 【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【「香港北部都会区行動綱領」公表 四大開発地域の位置づけ明確に】](#)

[【大湾区と湾岸協力理事会\(GCC\)との出会い どんな火花を散らすのか】](#)

## 【「香港北部都会区行動綱領」公表 四大開発地域の位置づけ明確に】



香港政府は10月30日、香港北部都会区の開発ビジョンや地域計画、主要建設プロジェクトなどを明らかにした「北部都会区行動綱領」（以下「行動綱領」）を発表し、8つの目標を提示しました。

面積3万ヘクタール、香港の総面積の約3分の1を占める北部都会区は、産業による先導を主軸とし、異なる開発テーマや産業位置付けの4つの主要地域に分かれています。最西端に位置するハイエンド専門サービスと物流ハブは深圳前海協力区に接続し、現代サービス産業センターを構築します。中央部に位置するイノベーション・テクノロジー・ゾーンはイノベーションと技術開発クラスタハブを構築し、河套協力区の深圳側園區と共に開発されます。そして、新田科技城

---

の東に位置するボーダービジネス産業区は、3つのボーダーを有するという利点を生かし、ビジネスや産業の発展を牽引します。最東部のグリーンレクリエーション・観光エコシステムゾーンは自然と文化資源が豊富であり、観光と自然保護の機会を創出することができます。

### 前海協力区と連携しハイエンド専門サービス・物流ハブを構築

「行動綱領」では、北部都会区の西部にハイエンド専門サービス及び物流ハブを構築することを提案しており、深圳前海の深圳・香港現代サービス産業協力区と南山区と共に、金融・プロフェッショナルサービス、物流サービスなどの方面において、ハイエンド経済協力を促進・深化させることにより、現代サービス産業の中心地となり、大湾区全体に広げることで、深圳・香港両地を頻繁に行き来するサービス産業の人材が集まることとなります。

また「行動綱領」はハイエンド専門サービスエリアと位置づけられた洪水橋／廈村計画について繰り返し言及しています。金融、保険、ウェルス・リスク・マネジメントなどの専門分野における香港特有の優位性を発揮し、法律、調停、仲裁、会計サービスなど国際基準に準拠した専門サービスに加え、前海、南山などの中国本土企業の香港経由での海外市場拡大を支援します。また、深圳湾イミグレーションに隣接する洪水橋／廈村エリアは、香港・深圳の「東から東へ、西から西へ」のクロスボーダー貨物輸送レイアウトにより、近代的物流センターとなります。

また、洪水橋／廈村に若者のイノベーション・起業拠点を設置し、起業支援センター、コワーキングスペース、オフィススペース、イベント会場などの施設を提供し若者起業家を誘致し、若者起業家クラスターを形成することで、大湾区のその他地区のイノベーション・起業拠点との協力を促進します。

### イノベーション・テクノロジー・ゾーンの構築 河套協力区深圳園區との共同開発

イノベーション・テクノロジー・ゾーンは北部都会区の中央に位置しており、

---

「行動綱領」によると、新田科技城は北方都会区イノベーション・技術開発クラスタの中心地であり、北部都会区全体の産業発展における重心となっています。

河套協力区の深圳側園区に隣接する新田科技城は「南に金融サービス、北にイノベーション・テクノロジー」という香港の新たな産業レイアウトを推進するため、深圳側園区と連携し開発する予定です。新田科技城の 600 ヘクタールの土地の約半分の 300 ヘクタールがイノベーション・テクノロジー開発用地となっており、新田／落馬洲エリア及び河套協力区の港深科技創新協力区が含まれています。総床面積は約 700 万平方メートルで、香港サイエンスパーク 17 個分に相当する規模で、科学技術イノベーションやその他産業の発展に豊富な土地資源を提供します。

イノベーション・テクノロジー・ゾーンは、計画・検討中の多くの鉄道・高速道路プロジェクトや、落馬洲／皇崗イミグレーションの再開発からの恩恵を受けることとなります。その中でも、全長約 5.8 キロの地下鉄のノーザン・リンクライン（北環線）は、河套協力区の港深科技創新協力区に駅が設置され、深圳の新しい皇崗イミグレーションに接続される予定であり、河套協力区を含む新田科技城のイノベーション・テクノロジー開発用地の対外交通連結強化に役立ちます。

### イミグレーションの利点を生かし、ビジネス・産業の発展を推進

「行動綱領」によると、開発計画中の新界北部ニュータウン及び羅湖／文錦渡においては、約 1,500 ヘクタールの土地を有し、イミグレーション存在の利点を生かし、潜在的発展が見込まれる、イミグレーション関連、またはより広い敷地面積を必要とされる経済的用途での開発の可能性を秘めています。イミグレーション地区の商業圏や新興産業の拠点構築し、新田科技城のイノベーション・テクノロジー産業と相互補完するとともに、深圳市羅湖区の発展の架け橋となることができます。

イミグレーション地区の商業産業エリアは新田科技城の東に位置しており、羅湖、文錦渡及び香園圍の 3 つのイミグレーションを擁しています。同エリアは深圳の羅湖区と隣接しており、深圳在住の香港人が多く、香港企業が進出しているエリアでもあります。ビジネス面では、羅湖に近い地理的優位性と、クロスボー

---

ダーの人の往来が多いことを考慮すると、商業サービス、小売・金融サービス、医療サービス、レジャー消費等の産業を構築し、対個人のクロスボーダーサービスや生活消費の需要を満たすことが可能です。

### 豊かな自然と人文資源 観光と自然保護の機会を創出

「グリーンレクリエーション・観光エコシステムゾーン」は、北部都会区の最東端に位置し、豊かな自然資源に恵まれ、自然保護区、海岸公園、地質公園の他、多くの伝統的な町並みを有しており、レクリエーションや観光開発の可能性を秘めています。この地域は観光産業が盛んな深圳市塩田区と隣接しており、両地域間の協力のチャンスも存在しています。

観光に関しては、香港特區政府は深圳市政府と協力し、香港側の沙頭角と深圳側の沙頭角における文化観光ゾーンの開発、及び両地域からの旅行者の観光エリアへの出入りをより便利にするための施策を含め、可能性を検討しています。

沙頭角イミグレーションの施設は老朽化しているため、出入境効率の向上と沙頭角地区の発展を促進するため、香港特區政府は深圳当局と連携し沙頭角イミグレーションの再開発プロジェクトを推進しています。再開発後の沙頭角イミグレーションは純粋な旅客向けのみでの出入境通関管理所となる見込みです。

## 【大湾区と湾岸協力理事会(GCC)との出会い どんな火花を散らすのか】



10月22日、中国政府商務部と広東省人民政府の共催による中国－湾岸協力理事会経済貿易協力フォーラムが広州市で開幕しました。現在、中国と湾岸協力理事会（以下「GCC」）の加盟国間の貿易高は高水準に達しており、双方向の投資も急速に成長し、経済貿易協力は広範囲で深く実り多い、という良い傾向を示しています。

### 経済・貿易協力がますます深まる 中国－湾岸間貿易、2022年には前年比 35.6%増

GCCはサウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、クウェート、オマーン、バーレーンを加盟国とする中東湾岸地域で最も重要な政治・経済組織であり、アジア、アフリカ、ヨーロッパを結ぶハブに位置し、石油埋蔵量が世界全体の30%、天然ガスの埋蔵量が20%を占めており、中東地域における中国の重要なパートナーです。

現在、中国は依然としてGCCの最大の貿易相手国であり、石油化学製品の最大の輸出国でもトップの地位を維持しており、2022年には中国－GCC諸国の貿易額は前年比35.6%増の3,158億米ドルに達しました。

---

「2009年に中国事務所を設立して以来、我々は中国と幅広く協力してきました」とサウジアラビア国際電力・水会社グループ（ACWA Power）の執行副社長兼中国企業総経理の呂雲鶴氏はインタビューで語りました。同社は世界最大のグリーン水素プロジェクトのほか、先進的な光熱技術や海水淡水化技術を持っており、最近では中国のパートナーと投資・融資、プロジェクト下請契約、設備調達など多くの分野での多くの契約を締結しています。一帯一路諸国の共同建設における協力を引き続き強化していきます。

上記は個別な案件ではありません。サウジアラビアのアジュラン・ブラザーズ・ホールディング・グループ（Ajlan & Bros）は中国に4つの事務所を設置しており、そのうちの1つは深圳にあります。同グループのシニア・バイス・プレジデント兼中華圏総経理の顔旭光氏は「現在、サウジアラビアの10社以上の中国企業と合弁事業に関する投資協定を締結しており、いくつかの投資プロジェクトはすでに実行に移されています」と語りました。

そのうち2つのプロジェクトは広東省と密接に関連しています。「1つはSF Expressと協力した物流プロジェクトです。現在、宅配便の配達員がサウジアラビアの街路を走りまわっており、日々の運営は非常に順調に成長しています。もう1つは深圳の金融テクノロジー会社と協力した電子決済プロジェクトで、すでにサウジアラビアの第三者決済と電子ウォレットのライセンスを取得し、サウジアラビアの『キャッシュレス社会』に貢献しています」と顔旭光氏は述べました。

## グリーンデジタルインテリジェンスを目指し ハイテク産業分野でさらなる協力を模索

「中国は人的資源と高レベルの産業・技術開発において独自の優位性を持っており、一方、GCC諸国は世界のエネルギー供給を確保する上で極めて重要な役割を果たしていることから、両者は高度な補完性を有しており、幅広い協力の可能性があります」とカタール商工部のスルタン・ラシッド・ハティール次官は述べました。

---

現在、広東省には 69,000 社以上のハイテク企業があり、地域の総合イノベーション能力は 6 年連続で中国国内第 1 位で、新世代の電子情報技術、人工知能、デジタル経済、グリーン化学工業、新エネルギー、新エネルギー自動車などの分野で急速に発展しています。

特に 5G 通信、再生可能エネルギー、人工知能、生物医学、ビッグデータなどの多くのハイテク産業において、広東省と GCC 諸国には相互補完的な利点があり、協力の余地が大きくなっています。

オマーンのカイス・ビン・ムハンマド・アル・ユセフ商工・投資促進大臣は、「GCC 諸国は、より多くの分野で中国との協力を拡大し、より多様な形の協力を促進することを望んでいる」と述べました。

#### 【参考資料】

- ・「香港北部都会区行動綱領」公表 [四大開発地域の位置づけ明確に](#)
- ・大湾区と湾岸協力理事会(GCC)との出会い [どんな火花を散らすのか](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、  
右記の QR コードから登録をよろしくお願いたします。  
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====  
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所  
担当: 新井 茂 <[s.arai@aoba.com.hk](mailto:s.arai@aoba.com.hk)>